

## プログラム

8月24日 (土)

10:00-10:10【第1会場】

### 開会式

開会のあいさつ：松本志保子（静岡県看護協会）

10:10-10:40【第1会場】

### 会長講演 チームのパフォーマンスを高める難病看護

座長：布谷 麻耶（武庫川女子大学看護学研究科）

演者：富安 眞理（静岡県立大学看護学部／看護学研究科）

10:50-11:50【第1会場】

### 教育講演1 看護師の臨床判断能力を可視化する

令和6年度科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）「研究成果公开发表（B）」

座長：細田 泰子（大阪公立大学看護学研究科）

座長：荒井 孝子（静岡県立大学看護教育実践研究センター）

演者：Kathie Lasater（オレゴン健康科学大学）

通訳：根岸まゆみ（静岡県立大学看護学部）

12:00-13:00【第1会場】

### DVD上映

映像で描く難病看護ストーリー

12:00-13:00【第2会場】

### ランチョンセミナー1 視神経髄膜炎スペクトラム障害～エンズプリングを安全に行うために～

共催：中外製薬株式会社

座長：宇田 優子（新潟医療福祉大学看護学部）

演者：河内 泉（新潟大学大学院歯学総合研究科医学教育センター／新潟大学医歯学総合病院・脳研究所）

12:00-13:00【第3会場】

### ランチョンセミナー2 美味しく食べることを実現する食支援

共催：イーエヌ大塚製薬株式会社／株式会社大塚製薬工場

座長：富安 眞理（静岡県立大学看護学部／看護学研究科）

演者：浅野 一恵（社会福祉法人子羊学園つばさ静岡）

---

12:00-13:00【第4会場】**ランチョンセミナー3 励まし、そして励まされ～シロクマセンセイの難病と生きる日々～**

共催：Alnylam Japan株式会社

座長：柗中智恵子（熊本大学大学院生命研究部）

演者：森内 剛（遺伝性ATTRアミロイドーシス患者）

---

13:00-14:00【第1会場】**基調講演 若年性パーキンソン病療養者のQOLを支える難病看護**

座長：川村佐和子（東京都医学総合研究所）

座長：大熊 泰之（順天堂大学保健看護学部／順天堂大学医学部附属静岡病院）

演者：秋山 智（広島国際大学看護学部）

演者：丸山 美重（全国パーキンソン病友の会）

---

13:10-14:00【第2会場】**教育講演2 難病看護と事例研究**

座長：秋本 芳美（訪問看護ステーションポポハート）

演者：原口 道子（東京都医学総合研究所 難病ケア看護ユニット）

---

14:15-15:45【第1会場】**シンポジウム 難病のある子どもの成長発達支援—様々な立場からの検討—**

令和6年度科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）「研究成果公开发表（B）」

座長：倉田 慶子（湘南医療大学保健医療学部）

座長：山下 早苗（静岡県立大学看護学部／看護学研究科）

演者：荒井 翔子（静岡県立こども病院／病棟看護師）

演者：山口 貴博（NPO法人ぴゅあ医療支援課／医療的ケア児コーディネーター）

演者：櫻井 郁子（静岡県看護協会）

演者：松平 千佳（静岡県立大学短期大学部社会福祉学部／NPO法人日本ホスピタル・プレイ協会）

---

14:15-15:45【第2会場】**交流集会1 パーキンソン病患者への支援を考える～目指すケアを多職種でつなぐ～**

コーディネーター：宮澤 初美（順天堂大学医学部附属静岡病院）

古屋 曜子（順天堂大学医学部附属静岡病院）

石井 啓太（順天堂大学医学部附属静岡病院）

田村 美紀（順天堂大学医学部附属静岡病院）

モロイ久美子（伊豆の国市社会福祉協議会）

近藤ふさえ（長岡崇徳大学看護学部）

小川 典子（順天堂大学保健看護学部）

大熊 泰之（順天堂大学医学部附属静岡病院）

14 : 15 – 15 : 45 【第4会場】

**交流集会2 神経難病療養者のこころのケアとして聴くことを考える 一質問する力を育てる一**

コーディネーター：原 三紀子（東邦大学看護学部）  
小長谷百絵（新潟県立看護大学）  
岡田みどり（東京薬科大学）  
満田 里香（NTT東日本関東病院）  
寺本千鶴子（東邦大学看護学部）  
企画協力者：近藤 真樹（コミュニケーションファンデーション）  
石澤 圭介（都立神経病院）

16 : 00 – 17 : 30 【第1会場】

**市民公開講座1 難病療養者と家族を取り残さない 防災・減災ネットワークの形成**

田辺三菱製薬医学教育助成  
座長：溝口 功一（医療法人社団泰平会 城西クリニック）  
座長：今福 恵子（豊橋創造大学 保健医療学部看護学科）  
演者：重川希志依（常葉大学大学院 環境防災研究科）  
演者：堀 芽久美（静岡県立大学看護学部／看護学研究科）  
演者：野中美保子（ラポールあい訪問看護ステーション）  
演者：長谷島さや（公益財団法人伊豆保健医療センター）

16 : 00 – 17 : 30 【第2会場】

**交流集会3 日本難病看護学会／日本遺伝看護学会合同企画****遺伝性難病患者と家族への看護 一血縁者との遺伝情報の共有に焦点を当てて一**

コーディネーター：大賀有佳子（九州大学病院）  
須坂 洋子（獨協医科大学看護学部）  
関屋 智子（金沢大学附属病院）  
野正 佳余（大阪急性期・総合医療センター 大阪難病医療情報センター）  
藤田香央里（青森県立あすなろ療育福祉センター）  
津崎 美佐（公立八鹿病院）  
戸田 真里（京都光華女子大学・立命館大学生存学研究所）  
柊中智恵子（熊本大学大学院生命科学研究部）

---

16:00-17:30【第3会場】

**交流集会4 就学前の難病や障害のある子どもの地域生活 ～保育所等の現状とこれからの考える～**

コーディネーター：石川 武雅（ななーる訪問看護デベロップメントセンター）

鈴木 絵美（大阪大学大学院）

林 夏紀（大阪大学大学院）

小西かおる（大阪大学大学院）

企画協力者：原 との子（訪問看護ステーションあおむし）

大木 千晴（当事者）

富永 純子（静岡市立登呂こども園）

---

16:00-17:30【第4会場】

**交流集会5 「訪問看護のための難病看護事例検討ツール」を使った事例検討会**

コーディネーター：加納 江理（静岡県立大学看護学部）

河野 貴大（聖隷クリストファー大学看護学部）

赤石ゆかり（北斗わかば病院）

水野 彰子（訪問看護ステーション高丘）

企画協力者：原口 道子（東京都医学総合研究所 難病ケア看護ユニット）

8月25日 (日)

9 : 30 - 11 : 00 【第1会場】

**パネルディスカッション 地域共生社会における難病療養者支援**

令和6年度科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)「研究成果公開発表(B)」

座長: 白井 正浩 (独立行政法人国立病院機構天竜病院)

水崎 和子 (浜松市神経難病療養者支援者の会/保健師)

演者: 加納 江理 (静岡県立大学看護学部/難病看護師)

松下 太一 (医療法人三誠会北斗わかば病院リハビリテーション部)

池谷 直士 (特定非営利法人Harmony)

10 : 00 - 11 : 30 【第2会場】

**交流集会6 日本難病看護学会企画****防災・減災ネットワーク形成における地域別難病看護師ネットワークの強化**

田辺三菱製薬医学教育助成

コーディネーター: 中山 優季 (東京都医学総合研究所 難病ケア看護ユニット)

飯田 苗恵 (群馬県立県民健康科学大学)

花井亜紀子 (国立精神医療研究センター病院・NCNP)

中島 大地 (ファミリーホスピス株式会社)

新井 明子 (高崎健康福祉大学訪問看護ステーション)

12 : 00 ~ 13 : 00 【第2会場】

**ランチョンセミナー4 パーキンソン病に対するデバイス補助療法について**

共催: アッヴィ合同会社

座長: 内山 剛 (聖隷浜松病院)

演者: 白石 眞 (聖マリアンナ医科大学脳神経内科)

金澤 葉子 (聖マリアンナ医科大学病院)

12 : 00 ~ 13 : 00 【第3会場】

**ランチョンセミナー5 視神経脊髄炎スペクトラム障害の治療と生活の両立のために**

共催: アレクシオンファーマ合同会社

座長: 菊地ひろみ (札幌市立大学大学院看護学研究科)

演者: 坂井田真実子 (日本視神経脊髄炎患者会)

櫻井 謙三 (聖マリアンナ医科大学病院脳神経内科)

12 : 00 ~ 13 : 00 【第4会場】

**ランチョンセミナー6 医療機器イノベーションがもたらす気道クリアランス**

共催: 栃木精工株式会社

座長: 小西かおる (大阪大学大学院医学系研究科)

演者: 石北 直之 (神戸大学大学院医学研究科・医学部未来医工学研究開発センター)

多田真寿美 (株式会社ナースあい)

---

13:00-14:30【第1会場】

**市民公開講座2 人間の尊厳を守るコミュニケーション -AI・BMI技術実装の課題**

助成：公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団

座長：丸山久美子（曲金訪問看護ステーション）

深江 久代（常葉大学健康科学部）

演者：武藤 将胤（一般社団法人 WITHALS）

中山 優季（東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター難病ケア看護ユニット）

---

13:30-14:30【第2会場】

**教育講演3 難病と看護師特定行為**

座長：樫原 理恵（聖隷クリストファー大学看護学部）

演者：習田由美子（厚生労働省医政局看護課）

---

13:30-15:00【第3会場】

**交流集会7 むずかしい病 最前線：環境過敏症セミナー -環境過敏症、香害について知る・考える-**

コーディネーター：鈴木 珠水（獨協医科大学看護学部）

馬醫世志子（獨協医科大学教学IRセンター）

企画協力者：北條 祥子（尚絅学院大学／東北大学大学院歯学研究科）

永吉 雅人（新潟県立看護大学）

渡井健太郎（湘南鎌倉総合病院）

中里 直美（(元) 国際医療福祉大学）

---

13:30~15:00【第4会場】

**交流集会8 在宅人工呼吸療法者への安全に向けたケア**

コーディネーター：飯田 苗恵（群馬県立県民健康科学大学）

鈴木 美雪（群馬県立県民健康科学大学）

佐々木馨子（群馬県立県民健康科学大学）

企画協力者：志田 雅利（合同会社メディカルサポート）

---

14:40-15:40【第1会場】

**市民公開講座3 漫画で描く生きる希望を実現する看護**

座長：看護学生（静岡県立大学看護学部）

演者：広田奈津美（漫画家／訪問看護師）

---

15:50-16:00【第1会場】

閉 会 式

## 一般演題発表 (口演・示説)

第1日目 2024年8月24日 (土)

## 口演

1群 難病治療・症状に対する在宅療養支援

10:45~11:45 第3会場

座長 田所良之 (東京医科大学)

O-1 【研究】パーキンソン病患者のLCIG療法導入のきっかけと期待

○近藤ふさえ<sup>1)</sup>、宮澤初美<sup>2)</sup>、小川典子<sup>3)</sup>、田村美紀<sup>2)</sup>

1) 長岡崇徳大学看護学部、2) 順天堂医学部附属静岡病院、3) 順天堂大学保健看護学部

O-2 【研究】在宅パーキンソン病療養者の生活困難感についての文献検討

～運動合併症による身体的・精神的影響に着目して～

○永田真那<sup>1)</sup>、加納江理<sup>2)</sup>

1) 聖隷三方原病院、2) 静岡県立大学看護学部

O-3 【実践】パーキンソン病患者の排便管理の有効性について考える

○井出典子<sup>1)</sup>、林紀子<sup>1)</sup>、氷室公秀<sup>1)</sup>

1) 氷室クリニック

O-4 【研究】地域における難病療養者と訪問看護師の関わり

○小林知子<sup>1)</sup>

1) 一般財団法人恵愛会訪問看護ステーションけいあい

2群 社会生活における支援

10:45~11:45 第4会場

座長 飯田苗恵 (群馬県立健康科学大学)

O-5 【研究】医療的ケアが多い神経難病療養者の退院支援事例の検討

～介護者の学習レディネスに配慮した退院支援計画の立案に焦点を当てて～

○鈴木彩芽<sup>1)</sup>

1) 東京医科歯科大学病院看護部

O-6 【実践】新たな医療的ケアが必要となった患児の退院支援

～地域との連携に困難感が生じた事例～

○菊川渚<sup>1)</sup>、酒井さつき<sup>1)</sup>、花井亜紀子<sup>1)</sup>

1) 国立精神・神経医療研究センター病院看護部

O-7 【研究】重症筋無力症患者の就労継続における困難とその対処、および期待する支援

○長島真祐美<sup>1)</sup>、伊藤美千代<sup>2)</sup>、清水準一<sup>2)</sup>

1) 自治医科大学附属病院 2) 東京医療保健大学千葉看護学部/千葉看護学研究科

O-8 【実践】にいがた難病パートナーシップによる新潟県ベーターレット病患者・家族交流会の活動支援の報告  
—看護系大学院生の立場から—

○近文香<sup>1)</sup>、木原しずか<sup>2)</sup>、有森直子<sup>3)</sup>

- 1) 新潟大学大学院保健学研究科博士後期課程
- 2) 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
- 3) 新潟大学大学院保健学研究科

**3群 当事者の体験・在宅療養支援**

14:15~15:45 第3会場

座長 牛久保美津子 (群馬大学大学院)

O-9 【症例】多系統萎縮症における療養支援の課題：入院期間の長期化に関する実証的分析

○花井亜紀子<sup>1)</sup>、菊川渚<sup>1)</sup>、朝海さつき<sup>1)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター病院

O-10 【研究】長年にわたり療養する多系統萎縮症患者の介護者の思いの考察

○石田千春<sup>1)</sup>

- 1) 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立神経病院

O-11 【研究】在宅筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者が経験した情動制止困難

～当事者の語りに焦点を当てて～

○檀原志穂<sup>1)</sup>、西留美子<sup>2)</sup>

- 1) 帝京平成大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程
- 2) 帝京平成大学大学院看護学研究科看護学専攻在宅看護学領域

O-12 【研究】希少難病者の自立生活 (第1報)

○戸田真里<sup>1) 2)</sup>

- 1) 京都光華女子大学看護福祉リハビリテーション学部看護学科在宅看護学
- 2) 立命館大学生存学研究所

O-13 【症例】重度訪問介護ヘルパーとの連携を通じた筋萎縮性側索硬化症患者へのコミュニケーション支援

○中村明利沙<sup>1)</sup>

- 1) 金沢医科大学病院看護部

O-14 【研究】難病患者への訪問看護のアウトカム評価

○板垣ゆみ<sup>1)</sup>、中山優季<sup>1)</sup>、原口道子<sup>1)</sup>、松田千春<sup>1)</sup>、小倉朗子<sup>1)</sup>、小森哲夫<sup>2)</sup>

- 1) 東京都医学総合研究所、
- 2) 東京医療保健大学/多摩リハビリテーション病院



**示説****1 群 難病看護の質向上**

13:00~14:00 第5会場

座長 西田美紀 (京都光華女子大学)

## P-1 【研究】パーキンソン病患者における医療者と患者家族が行える便秘改善方法の検討

○山本祐子<sup>1)</sup>、鳴瀬善久<sup>2)</sup>、田中貴大<sup>3)</sup>、富安眞理<sup>4)</sup>

1) 大阪信愛学院大学看護学部、2) 常葉大学健康プロデュース学部

3) 東京医科大学医学部看護学科、4) 静岡県立大学大学院

## P-2 【研究】筋ジストロフィー患者の排泄方法選択への支援

○品田葵<sup>1)</sup>、高橋由香<sup>1)</sup>、齋藤美紀<sup>1)</sup>、寺本千鶴子<sup>2)</sup>、菊池麻由美<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構新潟病院、2) 東邦大学看護学部

## P-3 【実践】在宅ALS療養者の生活を支援する道具

○丸山久美子<sup>1)</sup>、牧田洋子<sup>1)</sup>、鈴木あかね<sup>1)</sup>

1) 曲金訪問看護ステーション

## P-4 【研究】エキスパート神経難病看護師のALS患者の体位変換における暗黙知についての質的研究

○森谷利香<sup>1)</sup>、山本裕子<sup>2)</sup>

1) 摂南大学看護学部、2) 畿央大学健康科学部

## P-5 【研究】人工呼吸器装着中のALS患者A氏に対するエキスパート訪問看護師による体位変換の暗黙知

○前田有為子<sup>1)</sup>、森谷利香<sup>2)</sup>

1) 摂南大学大学院看護学研究科、2) 摂南大学看護学部

**2 群 人材育成**

14:15~15:05 第5会場

座長 森谷利香 (摂南大学)

## P-6 【研究】看護師の思考と臨床判断を培う臨地実習プログラムの検討

ーパーキンソン病友の会主催 卓球大会への参加を通してー

○富安眞理<sup>1)</sup>、三浦朱香<sup>2)</sup>、加納江理<sup>1)</sup>

1) 静岡県立大学看護学部、2) 駿河ホームEクリニック

## P-7 【実践】高校生・大学生参加のコミュニケーション支援研修会の実践報告

○加納江理<sup>1)</sup>、河野貴大<sup>2)</sup>

1) 静岡県立大学看護学部、2) 聖隷クリストファー大学看護学部

## P-8 【研究】在宅療養生活を送る難病の患者理解を目指した動画教材の学習効果

○井上葉子<sup>1)</sup>、葦原佐衣<sup>2)</sup>、西村和子<sup>3)</sup>

1) 奈良学園大学、2) 天理大学、3) 田北看護専門学校

## P-9 【実践】 サマーキャンプ参加での看護学生の学び

—難病の子ども支援全国ネットワーク「がんばれ共和国」—

○鈴木和香子<sup>1)</sup>

1) 静岡県立大学看護学部

## 3 群 難病支援チーム

15:25~16:15 第5会場

座長 岩木三保 (九州大学大学院)

## P-10 【実践】 小児における難病患者等介護家族リフレッシュ事業の利用状況と課題

○原との子<sup>1)</sup>、鈴木和香子<sup>2)</sup>

1) 訪問看護ステーションあおむし、2) 静岡県立大学看護学部

## P-11 【実践】 在宅人工呼吸難病療養者への災害対策の取組

—事業所の事業継続計画 (BCP) と災害時個別支援計画の実効性に向けた情報交換会—

○角田奈穂<sup>1)</sup>、田中陽子<sup>1)</sup>、飯田苗恵<sup>2)</sup>、鈴木美雪<sup>2)</sup>、佐々木馨子<sup>2)</sup>

1) 前橋市保健所、2) 群馬県立県民健康科学大学

## P-12 【実践】 訪問看護師が行う難病療養者のアセスメントへのICT導入に関する有用性の検討

○三浦朱香<sup>1)</sup>、櫻井悦子<sup>2)</sup>、小林知子<sup>3)</sup>

1) 医療法人勝優会するがホームEクリニック

2) 聖隷訪問看護ステーション千本、3) 訪問看護ステーションけいあい

## P-13 【研究】 難病療養支援機関の連携の局面における取組み

—重層的課題に対する実践の質的検討—

○原口道子<sup>1)</sup>、中山優季<sup>1)</sup>、小倉朗子<sup>1)</sup>、松田千春<sup>1)</sup>、板垣ゆみ<sup>1)</sup>、小森哲夫<sup>2)</sup> <sup>3)</sup>

1) 公財) 東京都医学総合研究所難病ケア看護ユニット

2) 東京医療保健大学、3) 多摩リハビリテーション病院

## 第2日目 2024年8月25日(日)

### 口演

#### 4群 QOL

9:20~10:20 第3会場

座長 菅原京子 (山形県立保健医療大学)

O-15 【研究】 SEIQoL-DWによる18年間の継続研究からみた若年性PD患者のQOLの特徴

～コロナ禍の影響に焦点を当てて～

○秋山智<sup>1)</sup>、岡本裕子<sup>2)</sup>、平岡正史<sup>3)</sup>

1) 広島国際大学、2) 元広島国際大学 3) 清水ヶ丘高等学校看護専攻科

O-16 【研究】 パーキンソン病患者の趣味・余暇活動におけるQOLの評価と芸術文化活動の参加について

○古本幸<sup>1)</sup>、秋山智<sup>2)</sup>、平岡正史<sup>3)</sup>

1) Créer des liens (クレ・デ・リアン)、2) 広島国際大学、3) 清水ヶ丘高等学校看護専攻科

O-17 【研究】 若年性パーキンソン病をもつ女性患者の美容・整容に関する経験

～対象者が経験した「問題」に焦点をあてて～

○桑名倫子<sup>1)</sup>、秋山智<sup>2)</sup>、岡本裕子<sup>3)</sup>

1) 高知市役所こども未来部母子保健課、2) 広島国際大学看護学部

3) 元広島国際大学看護学部

O-18 【研究】 思春期における筋ジストロフィー患者のQOLとは

～SEIQoL-DWを用いた関わり～

○五十嵐百香<sup>1)</sup>、高橋由香<sup>1)</sup>、齋藤美紀<sup>1)</sup>、寺本千鶴子<sup>2)</sup>、菊池麻由美<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立機構新潟病院、2) 東邦大学看護学部

#### 5群 リスク管理

9:20~10:05 第4会場

座長 平澤則子 (長岡崇徳大学)

O-19 【研究】 “化学物質に不耐を示す青少年の集団像を掴む” ための調査項目の検討

○鈴木珠水<sup>1)</sup>、馬醫世志子<sup>2)</sup>

1) 獨協医科大学看護学部、2) 獨協医科大学教学IRセンター

O-20 【実践】 難病・認知症患者の虐待へ至る経緯について考える

○井出典子<sup>1)</sup>、林紀子<sup>1)</sup>、氷室公秀<sup>1)</sup>

1) 氷室クリニック

O-21 【研究】 「自分で作る 災害時対応ハンドブック」の周知および作成状況について

～アンケート調査結果から～

○関本聖子<sup>1)</sup>、遠藤久美子<sup>1)</sup>、遠藤恵<sup>1)</sup>

1) 東北大学病院難病医療連携センター

## 6 群 意思決定

10:30~11:30 第3会場

座長 原三紀子 (東邦大学)

O-22 【研究】筋萎縮性側索硬化症に焦点化したアドバンスケアプランニングの実践ノウハウと課題

○中川裕<sup>1)</sup>、牛久保美津子<sup>2)</sup>

1) 高崎健康福祉大学、2) 群馬大学大学院保健学研究科

O-23 【症例】在宅療養が困難になった高齢ALS患者と家族の療養に関する意思決定支援

○宮田ゆかり<sup>1)</sup>

1) 地方独立行政法人堺市立病院機構堺市立総合医療センター

O-24 【研究】筋萎縮性側索硬化症患者の人生や生活の価値観が医療処置に関する意思決定過程に与える影響

○澤田樹里<sup>1) 2) 3)</sup>

1) 元三重大学大学院医学系研究科博士前期課程

2) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士課程

3) 東京都医学総合研究所難病ケア看護ユニット研修生

O-25 【研究】神経筋難病患者の人工呼吸器装着に関する、意思決定のバリエーションに応じた看護実践

○木村古都<sup>1)</sup>、近藤真紀子<sup>2)</sup>

1) 南岡山医療センター、2) 香川県立保健医療大学

## 7 群 人材育成・多職種連携

10:30~11:30 第4会場

座長 松田純 (静岡大学名誉教授)

O-26 【研究】難病保健活動の自己評価と活動推進の要件

—都医学研夏のセミナー受講者調査による—

○小倉朗子<sup>1)</sup>、板垣ゆみ<sup>1)</sup>、原口道子<sup>1)</sup>、松田千春<sup>1)</sup>、中山優季<sup>1)</sup>、千葉圭子<sup>2)</sup>、  
小森哲夫<sup>3)</sup>

1) 公財) 東京都医学総合研究所、2) 京都府立医科大学

3) 東京医療保健大学/多摩リハビリテーション病院

O-27 【研究】神経難病患者の看護の実践において看護師が抱く困難さとその対応

○柘植美貴子<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構天竜病院

O-28 【研究】医療と福祉の間に共有される価値としての連携や協働の存在

—専門職の観点を超える他者である患者の存在—

○長谷川唯<sup>1)</sup>

1) 立命館大学生存学研究所

O-29 【研究】パーソナルアシスタントと介護事業所の介助体制の違いと協働の可能性

○長谷川唯<sup>1)</sup>、ユ・ジンギョン<sup>2)</sup>

1) 立命館大学生存学研究所、2) 立命館大学先端総合学術研究科大学院生

**示説****4 群 症状・心のケア**

10:30~11:30 第5会場

座長 藪下八重 (佛教大学)

## P-14 【研究】 クローン病と睡眠障害の実態調査

○藤原さおり<sup>1)</sup>、森崎直子<sup>2)</sup>、西村伸子<sup>2)</sup>

1) あべしゅん内科・内視鏡IBDクリニック、2) 姫路大学大学院 看護学部 看護学研究科

## P-15 【研究】 天疱瘡・類天疱瘡患者が病いに伴い感じる困難

—アンケートの自由記述の内容分析—

○種村智香<sup>1)</sup>、布谷麻耶<sup>1)</sup>

1) 武庫川女子大学看護学部

## P-16 【研究】 小児期発症腎・リウマチ疾患患者の小児医療から成人医療への転科の経験：

Meleisの移行理論を用いたmultiple-case study

○與那覇真帆<sup>1)</sup>

1) 沖縄県立看護大学大学院博士後期課程小児保健看護専攻

## P-17 【症例】 移行期におけるALS患者のニードに沿った看護ケアの取り組み

～絶望から希望を見出した関わり～

○佐藤涼<sup>1)</sup>、齊藤久美子<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構福島病院

## P-18 【研究】 若年性パーキンソン病 (PD) 患者の主観的健康感のコロナ禍における3年間の変化と

SEIQoL-DWとの関連について

○岡本裕子<sup>1)</sup>、秋山智<sup>2)</sup>、平岡正史<sup>3)</sup>

1) 元広島国際大学、2) 広島国際大学、3) 清水ヶ丘高等学校看護専攻科

**5 群 難病看護の専門性**

13:00~13:50 第5会場

座長 中井三智子 (鈴鹿医療科学大学)

## P-19 【研究】 難病看護のやりがいに関する文献検討

○石綿啓子<sup>1)</sup>、宇田優子<sup>2)</sup>

1) 新潟薬科大学、2) 新潟医療福祉大学

## P-20 【実践】 「訪問看護のための難病看護事例検討ツール」を使った事例検討会の実践報告

○加納江理<sup>1)</sup>、河野貴大<sup>2)</sup>

1) 静岡県立大学看護学部、2) 聖隷クリストファー大学看護学部

P-21 【実践】 長期在宅療養のALS患者と家族を支える訪問看護師としてできること

○西尾まり子<sup>1)</sup>

1) 地域ケアステーション八千代・訪問看護ステーション

P-22 【症例】 在宅での看取りを希望したALS患者・家族の意思決定支援

—多職種連携における訪問診療看護師の役割—

○森井麻理<sup>1)</sup>

1) 医療法人社団碧水会南増尾クリニック

## 6群 意思決定

14:00~14:50 第5会場

座長 小長谷百絵 (新潟県立看護大学)

P-23 【症例】 納得のいく療養生活とは～ALS患者の意思決定支援～

○正木萌衣<sup>1)</sup>、齊藤久美子<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構いわき病院、2) 独立行政法人国立病院機構福島病院

P-24 【研究】 パーキンソン病療養者の意思決定に関する国内文献の検討

○田中貴大<sup>1) 2)</sup>、山本祐子<sup>3)</sup>、富安眞理<sup>1)</sup>

1) 静岡県立大学大学院看護学研究科、2) 東京医科大学医学部看護学科

3) 大阪信愛学院大学看護学部

P-25 【実践】 パーキンソン病の症状進行を契機にアドバンスケアプランニングを実施した事例

○瀧口惣則<sup>1)</sup>

1) 静岡県立看護専門学校

P-26 【実践】 在宅ALS患者の人工呼吸器装着をめぐる意思決定に関する訪問看護支援

○秋本芳美<sup>1)</sup>

1) 株式会社瑠璃の邑訪問看護ステーションポポハート